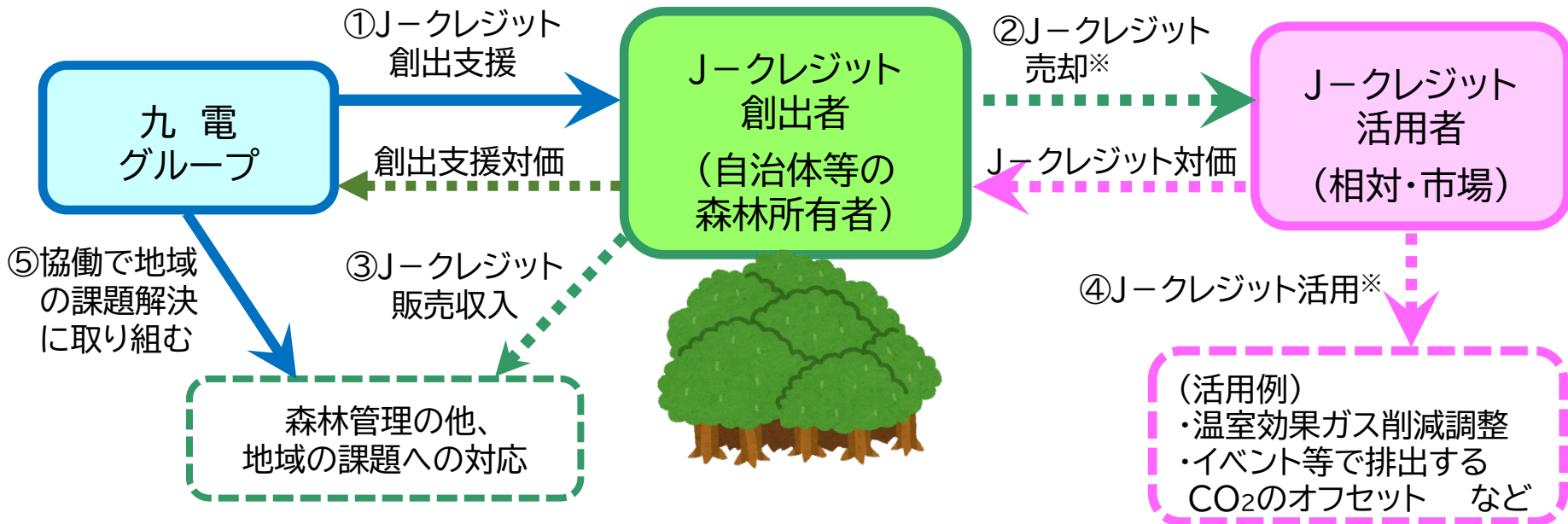


○ 森林J-クレジット創出・活用支援事業について

- 森林J-クレジット創出・活用支援事業とは、森林におけるJ-クレジット創出に向けて、森林所有者・管理者が行う国への各種申請手続きを全面的に支援(代行)するもの(①)。創出されたJ-クレジットは売却(②)することができ、森林管理費等に充当(③)することが可能。また、クレジット購入者はカーボン・オフセット等(④)に活用することが可能。
- あわせて、九電グループは、森林管理の効率化に繋がるソリューション等を通じて、地域の課題解決に貢献(⑤)し、地域とともに持続的な発展を志向。

【イメージ図】



※ J-クレジットの販売面・活用面(②④)の支援も実証中

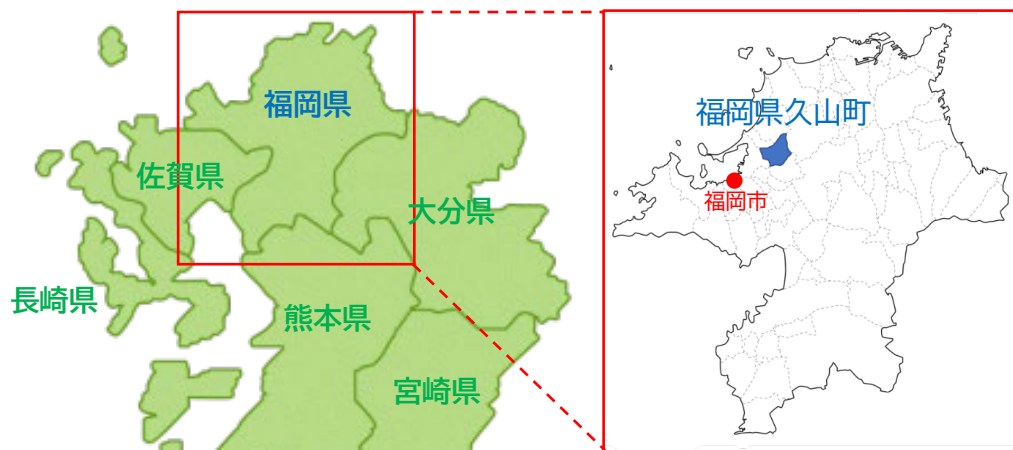
○ 福岡県久山町について

- 高度経済成長期の1970年に、町の約97%を市街化調整区域に指定。建物の建築制限を加えたことで、土地の乱開発が行われず美しい自然が守られている町であり、「国土・社会・人間の三つの健康づくり」を基本理念とした取組みを推進。
- 2022年3月には、「カーボンネガティブ※1」、及び全国初の「ネイチャーポジティブ※2」への取組みを宣言。カーボンニュートラルの実現をはじめ、人々の健康や地球の健康に欠かせない自然環境を将来世代に継承するための活動を展開。

※1 二酸化炭素の吸収量が排出量より多い状態

※2 生物多様性の減少を食い止め、回復に向かわせること

【久山町の概要】



人口	9,341人 (2023.11.30時点)
町の面積	約37.4km ²
うち森林面積(森林率)	約25.5km ² (約68%)
J-クレジット認証見込量	1,513t-CO ₂ (2021~28年度総計)

○ SAGA COLLECTIVE協同組合について

- ・ 佐賀県を代表する地場産業・伝統産業10業種11社からなる協同組合。
- ・ 「地元佐賀の自然環境を守り、未来の地場産業や伝統産業を守る」というビジョンの下、CO₂削減への取組みの一つとして、商品製造等で排出されるCO₂を、佐賀県を中心とした九州で創出された森林J-クレジット等を活用しオフセット。クレジット対価が森林整備等に充てられることで、自然環境(木、水等)の維持向上、ひいては自身の事業継続に寄与。

